

自公政治がさらにひどくした日本の貧困①

(「貧困と富 階級社会の実相」 山下執筆分から)

比較項目	日本の状況(各国との比較など)	出所など
増えたままの完全失業者	95年から200万人台、99年から300万人台で、2002年に最高の359万人、2006年は275万人	総務省統計局
増える一方のフリーター	1982年の50万人から2004年には200万人を超えた。家事手伝い、求職中も含めば417万人と内閣府推計	内閣府推計
ニート(若年無業者)の増加	15歳から34歳で教育、雇用、職業訓練についていない若者は85万人	2002年、内閣府調査
ワーキングプア	生活保護基準以下の労働者が全労働者の4人に1人。全世帯の1割。	民間給与実態統計調査 国税庁
労働法改悪で増えた非正規労働者	1994年の981万人が2003年の調査(厚労省)で1637万人に増加。全雇用者に占める割合も、1994年の22.8%から2003年では34.6%となり、雇用者の3人に1人が非正規。	労働省、厚労省調査
最低賃金は先進国で最低	オランダの月給180479円/時間給のフランス1162円、イギリス1096円、カナダ678~860円、米国602円に対し日本673円	厚生労働省 2006年
労働週50時間を超える労働者	対象19カ国中、最悪の1位	2004年度
生活保護者数も増えたまま	受給者は2006年4月で147万人、被保護世帯は105万世帯に増える一方	2006年
国保料が払えない	国保料が払えない世帯480万世帯、国保証取上げ(資格証明書)35万世帯	2006年1月
多くの人が低年金と無年金	保険料免除者、滞納者・未加入者で将来的に1000万人が低年金、無年金になると推計される	
日本の貧困率	国民の平均所得の50%以下を貧困者として、国民に占める貧困者の比率は世界で5位の高さで、15.3%とメキシコ、米国、トルコ、アイルランドに次ぐ。	
年収300万円未満の世帯	全世帯の約3割	厚生労働省